システムセットアップガイド（表面）

STEP1 箱を開ける ＞ STEP2 接続する ＞ STEP3 スピーカーの設置 ＞ STEP4 電源を入れる ＞ STEP5 再生する

本システムは、コンパクトながら迫力あるドルビーデジタルやDTSサウンドで、あなたの部屋をホームシアターに変身させます。
このシステムセットアップガイドでは、はじめてこのシステムをお使いになる方のために、接続と設置のしかたを説明しています。

⚠ 接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源コードを抜いてください。また電源コードはすべての接続が終わってから壁のコンセントへ接続してください。

STEP1 箱を開ける

付属品の確認

[DVD/CD レシーバー部の付属品]

- リモコン ×1

- 単3形乾電池×2（AA/R6P）

- AM ループアンテナ×1（図は組み立てた状態です）

- FM 簡易アンテナ×1
- 電源コード×1
- ビデオコード×1

- MCACC セットアップ用マイク×1

- 保証書
- 取扱説明書
- システムセットアップガイド（本書）

[スピーカー部の付属品]

- センタースピーカー ×1

- フロントスピーカー ×2

- サラウンドスピーカー ×2

- サブウーファー ×1

- スピーカーコード
  4m（赤色のフロントスピーカー用）×1
  4m（白色のフロントスピーカー用）×1
  4m（緑色のセンタースピーカー用）×1
  10m（青色のサラウンドスピーカー用）×1
  10m（灰色のサラウンドスピーカー用）×1
  4m（紫色のサブウーファー用）×1
- 滑り止めパッド（小）×12

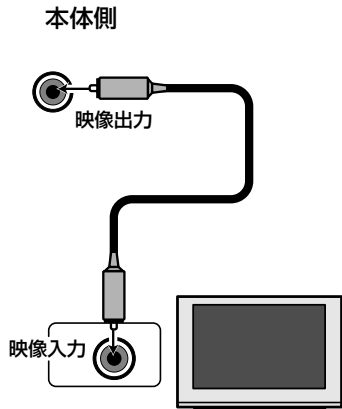
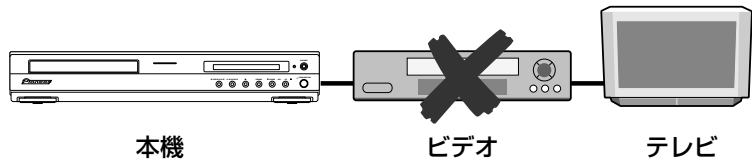
- 滑り止めパッド（大）×4

2 テレビと接続します

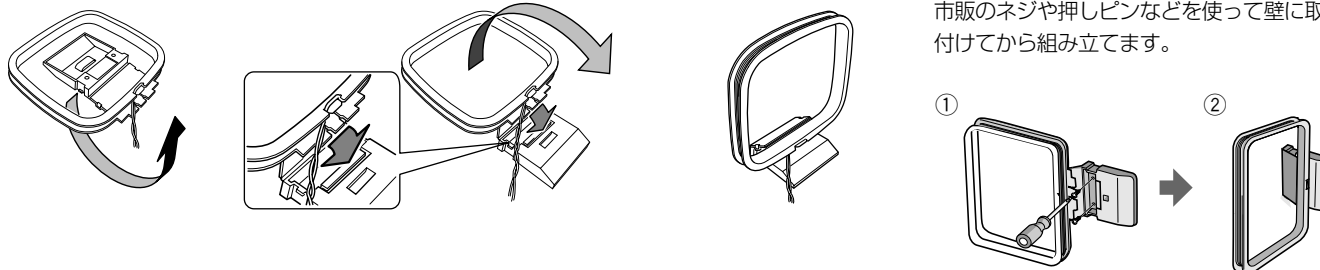
付属のビデオコード（黄色のプラグ）を本機の映像出力端子に接続します。
次に、ビデオコード（黄色のプラグ）の反対側をテレビの映像入力端子(VIDEO IN)に接続します。
本機では、S端子やD1/D2端子からでも、テレビと接続することができます。詳しくは、取扱説明書の68ページ「**より鮮明な映像でテレビを見るための接続**」をご覧ください。

本機の映像出力は、直接テレビに接続してください。
本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、本機をビデオデッキを通してテレビに接続したり、ビデオデッキで録画して再生すると、正常な再生ができないことがあります。また、本機をビデオ内蔵テレビに接続すると、コピーガードによって正常な再生ができないことがあります。詳しくはお使いのテレビメーカーにお問い合わせください。

本体側　映像出力　映像入力

本機　ビデオ　テレビ

3 AMループアンテナを組み立てます

台を外側に出します。　突起部を溝にはめます。　完成

壁に取り付けるには....
市販のネジや押しピンなどを使って壁に取り付けてから組み立てます。
① → ②

4 AMループアンテナとFM簡易アンテナを接続します

AM ループアンテナ　FM 簡易アンテナ

コードの被覆を回しながら引き抜きます。

AM アンテナ接続端子のつめを押しながら、AM ループアンテナのコードを端子に差し込みます。
どちらをアース側の端子（⏚）につないでもかまいません。
コードを差し込んだら端子から指を離します。
AM ループアンテナは、本機からできるだけ離して置くことをお勧めします。

FM 簡易アンテナは、中央のピンに差し込んでください。
またFM簡易アンテナは、たらしておいたり、丸めたままにしないで最も良い受信状態が得られるように、ピンと張ってください。

STEP2 接続する

1 スピーカーコードをつなぎます

カラーコネクターが付いていない方の先端の被覆は、ねじりながら引き抜きます。

本体のスピーカー端子へスピーカーコードのカラーコネクターを差し込みます。
カラーコネクターの色と同じ色のスピーカー端子へ差し込みます。
スピーカー端子は上側と下側とで向きが異なるためカラーコネクターの向きを確認して差し込んでください。

カラーコネクター　上側
カラーコネクター　下側

スピーカー側の端子については、スピーカー端子のツメを押しながら芯線を端子に差し込みます。
スピーカーコードのカラーチューブのあるほうを端子の赤側（⊕側）に接続します。カラーチューブのないスピーカーコードは黒い端子の⊖側に差し込みます。
（スピーカーコードのカラーチューブの色と、スピーカーのリア部に貼られてあるラベルの色とを合わせます。）

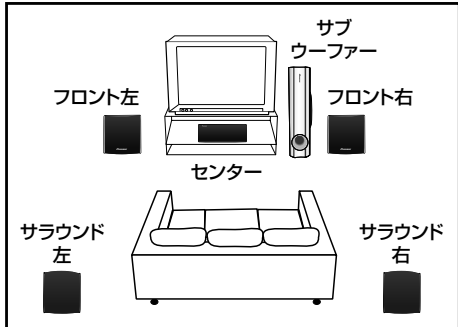
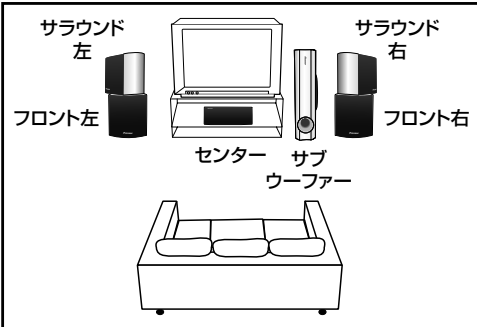
本スピーカーを本システム以外のアンプで使用しないでください。故障、火災の原因となることがあります。

STEP3 スピーカーの設置

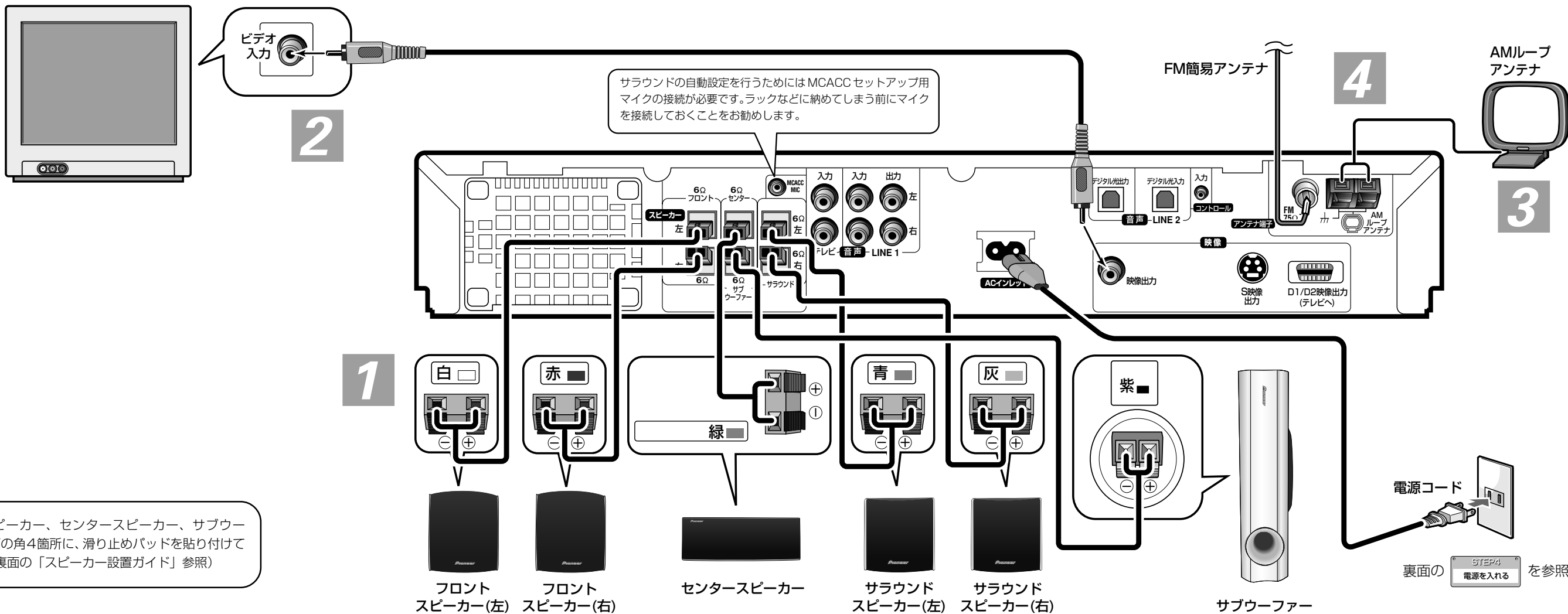
裏面の「スピーカー設置ガイド」もあわせてご覧ください。
サラウンド効果を最大限に引き出すには下図の「ノーマルサラウンド5SPOT設置」をお勧めします。サラウンドスピーカーを設置するスペースが確保できないときは、サラウンドスピーカーをフロントスピーカーの上に設置する「フロントサラウンド3SPOT設置」でお楽しみいただくことができます。詳しくは裏面の「**スピーカー設置ガイド**」と取扱説明書の44ページ「**フロントサラウンド**」をご覧ください。

ノーマルサラウンド 5SPOT 設置

フロントサラウンド 3SPOT 設置

サラウンド左　サラウンド右　フロント左　フロント右　センター　サブウーファー

- 左右に置いたスピーカーはテレビからは等距離で同じ高さになるように設置してください。
- センタースピーカーはテレビの下側に置き、センターチャンネルの音がテレビと同じ位置から聴こえるようにしてください。もしセンタースピーカーをテレビの上に置くときは、テープなどを使用して適切な方法で固定してください。固定しないと地震などの外部の振動により、スピーカーがテレビから落下してケガをしたり、スピーカーを破損する原因となります。
- サラウンドスピーカーは耳の高さからやや上方に設置すると効果的です。
- サラウンドスピーカーを視聴位置（リスニングポジション）から極端に離して設置すると、サラウンド効果が十分に発揮されません。
- 本機のフロント、センター、サラウンドスピーカーはテレビとの近接使用が可能なスピーカーですが、まれに設置のしかたによっては色むらを生じる場合があります。その場合は一度テレビの電源を切り、15～30分後再びスイッチを入れてください。その後も色むらが残るようでしたらスピーカーシステムをテレビから離してご使用ください。
- 本機のサブウーファーはテレビとの近接使用ができませんのでテレビから離してご使用ください。また、磁気に影響しやすい機器（フロッピーディスク、カセットテープ、ビデオテープなど）は本機のサブウーファーから離してお使いください。近くに磁石など磁気を発生するものが置かれている場合には、相互作用によりテレビに色むらを発生する場合がありますので、設置にご注意ください。
- フロントスピーカーとサブウーファーは視聴位置から等距離になるように設置してください。
- センタースピーカーやサブウーファーを壁に掛けたり、天井に吊るしたりして使用しないでください。スピーカーが落下してケガをしたり、スピーカーを破損する原因となります。

メモ

◆ フロントスピーカー、センタースピーカー、サブウーファーの底面の角4箇所に、滑り止めパッドを貼り付けてください。（裏面の「スピーカー設置ガイド」参照）

システムセットアップガイド（裏面）

STEP4 電源を入れる

1 リモコンに電池を入れます

- ◆ 乾電池のプラス ⊕ とマイナス ⊖ の向きを電池ケースの表示通りに正しく入れてください。
- ◆ 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
- ◆ 乾電池には同じ形状でも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- ◆ 長い間（1か月以上）使用しないときは電池の液漏れを防ぐために電池を取り出してください。もし、液漏れを起こしたときは、ケース内についた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。
- ◆ 不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示（条例）に従って処理してください。

2 電源コードを本体と壁のコンセントに差し込みます

電源コードを本体のACインレットに差し込み、電源コードのプラグ部を壁のコンセントに接続します。
初めて電源コードをコンセントにつないだ時はデモモードになります。詳しくは取扱説明書の18ページ**「デモ表示を解除する」**をご覧ください。

3 電源を入れます

テレビの電源ボタンおよび本機の電源ボタンを押して電源をONにします。

4 テレビの入力を切り換えます

右のテレビ画面が映るように、テレビの入力切換ボタンを押して本機と接続している映像入力を選びます。

STEP5 再生する

1 スピーカーの接続確認をします

各スピーカーから「ザー」というテストトーンを出すことで、正しく接続されているかを確認します。

ディスプレイに「Auto」と表示させます。

各チャンネルが自動で切り換わり、テストトーンが出力されます。

「ザー」というテストトーンが、すべてのスピーカーから順番に出ることを確認します。
もう一度テストトーンボタンを押すとテストトーンは止まります。
テストトーンの出ないスピーカーがある場合は、もう一度裏面の接続方法を確認して、接続をし直してください。

2 再生します

ディスクテーブルを閉めると、自動的に再生を始めるディスクもあります。

再生するソースによってはセンタースピーカーやサラウンドスピーカーから音が出ないことがあります。取扱説明書の40ページ**「サラウンド再生を楽しむ」**をご覧になり、お好みに応じてリスニングモードを切り換えてください。

さあ、DVDの世界をお楽しみください！

最適な環境で迫力あるサラウンドを楽しむために

サラウンドの自動設定（MCACC）を行います

取扱説明書の8ページ「サラウンドの自動設定（MCACC）」をご覧ください。
マイクを使用した自動設定で、高精度なサラウンド設定を簡単に短い時間で行うことができます。

スピーカー設置ガイド

サブウーファーの設置のしかた

- サブウーファーは縦置きと横置きの2つの置き方を選ぶことができます。それぞれ滑り止めパッドを貼る位置が異なりますのでご注意ください。

1 サブウーファーに滑り止めパッドを貼ります

縦置きの場合　横置きの場合

スピーカーの設置のしかた

- 本機ではサラウンドスピーカーを視聴位置の後方に設置する「ノーマルサラウンド 5SPOT 設置」と視聴位置の前方に設置する「フロントサラウンド 3SPOT 設置」の2つの設置方法が選択できます。お客様のリスニングルームの環境に合わせてどちらかの設置をお選びください。

ノーマルサラウンド 5SPOT設置の場合

リスニングポジションの後方にサラウンドスピーカーを設置するスペースがあるときはこのように設置することをお勧めします。

1 フロント、センタースピーカーの底面の角4箇所に、滑り止めパッドを貼り付けます

フロントスピーカー　センタースピーカー

2 各スピーカーを配置し接続します

上図のように配置し、表面のシステムセットアップガイドをご覧になり、接続を行ってください。

フロントサラウンド 3SPOT設置の場合

リスニングポジションの後方にサラウンドスピーカーを設置するスペースがないときはこのように設置することができます。

メモ

- ◆ フロントサラウンド3SPOT設置のときは、スピーカーに壁掛け用止め具やスタンドなどを取り付けないでください。
- ◆ フロントサラウンド3SPOT設置のときは、サラウンドスピーカーは落下しないように、必ずフロントスピーカーの上に設置してください。

1 フロント、センタースピーカーの底面の角4箇所に、滑り止めパッドを貼り付けます

フロントスピーカー　センタースピーカー

2 各スピーカーを配置し接続します

下図のようにサラウンドスピーカー底面部の円形の滑り止めをフロントスピーカー上面部の枠に合わせて設置し、各スピーカーを接続します。このときサラウンドスピーカーの接続コードは図のように5cm程度たるみをもたせてください。

3 サラウンドスピーカーの向きを調整します

取扱説明書の44ページ「フロントサラウンド」でエキストラパワーを選択したときはサラウンドスピーカーを正面に、フロントサラウンドムービーとフロントサラウンドミュージックを選択したときはサラウンドスピーカーを外側へ60°の向きになるよう調整します。

上側のスピーカーの▼印を、下側スピーカーのラベルの「エキストラパワー」▲印の位置に合わせてください。

エキストラパワー

フロントサラウンドムービー
フロントサラウンドミュージック

上側のスピーカーの▼印を、下側スピーカーのラベルの「フロントサラウンド」▲印の位置に合わせてください。

パイオニア株式会社　〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

<XRA3024-A>